



新年明けましておめでとうございます

新型コロナウイルス感染症が全世界で蔓延し、3年が経過しました。県内でも第8波に入っており、新たな変異ウイルスが増え始めるとも言われており、引き続きの感染対策が求められています。

昨年は引き続きコロナ禍の中で、様々な制約を受けましたが、6月のウクライナ緊急支援カンパや環境保全活動の一環である植樹祭への参加、9月の県内6地協合同「海洋プラごみ・クリーンキャンペーン」の行動実施などが出来ました。また、大運動会の代替企画で行った「ボウリング大会」や東青地区労福協主催のチャリティーゴルフコンペでの会員間の交流を深めてきました。

コロナ禍による社会・経済活動の制約が長引く中、ロシアのウクライナ侵攻等の影響を受け、エネルギー価格の上昇や食料品をはじめとした生活品の値上げにより、日常生活が脅かされています。連合青森東青地協では、「働くことを軸とする安心社会—まもる・つなぐ・作り出す—」の実現に向けた運動を実践するため、具体的な運動方針の中で、3点の重点分野「①全ての働く仲間をまもり、つなぐための集团的労使関係の追求②安心社会とディーセント・ワークをまもり、創り出す運動の推進③ジェンダー平等をはじめとして、一人ひとりが尊重された「真の多様性」が根付く職場・社会の実現」を設定し、3点の推進分野「①社会連帯を通じた平和、人権、社会貢献への取り組みと次世代への継承②健全な議会制民主主義と政策実現に向けた政治活動の推進③労働者自主副事業の充実」設定して様々な視点での取り組みを進めることとしています。

こうした中で取り組まれた、昨年7月の参議院選挙では青森選挙区たなぶまさよ、比例区8名の当選を勝ち取る事が出来たことは大きな成果でありました。また、10月の青森市議選では推薦候補4名全員が当選できたことは東青地協に結集する仲間の取り組みによるものが大きかったと思います。

東青地協では、働く者・生活者に寄り添い「必ずそばにいる存在」として、働く仲間との団結・連帯の絆をさらに強化・拡大し、組織内外との連携も深めることで地域社会からの期待に応えていきたいと思っています。

結びに、本年が皆様にとりまして、「これまでの努力が花開き、実り始める」希望の持てる年になりますように祈念申し上げ、年頭のあいさついたします。共に頑張りましょう。

東青地域協議会 議長 加藤 篤



連合青森東青地域協議会

〒030-0802 青森市本町 3 丁目 3-11

ハートピアローフ内

TEL : 017-735-0554

E-mail: tosei@aomori.jtuc-rengo.jp